

**製品名: POU5F1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82903**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	38.5kDa

**抗原情報**

遺伝子名	POU5F1
別名	OCT3; OCT4; OTF3; OTF4; OTF-3; Oct-3; Oct-4
遺伝子 ID	5460.0
SwissProt ID	Q01860
免疫原	大腸菌で発現したヒトの精製組み換え断片 (AA: 136-360)。

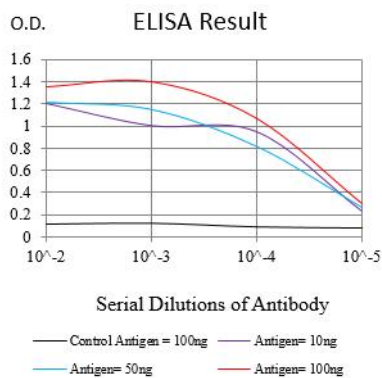
**背景**

この遺伝子は、胚発生および幹細胞の多能性において重要な役割を果たす POU ホメオドメインを含む転写因子をコードしています。成体組織におけるこの遺伝子の異常発現は腫瘍形成と関連しています。この遺伝子は、21 番染色体上のユーイング肉腫遺伝子との転

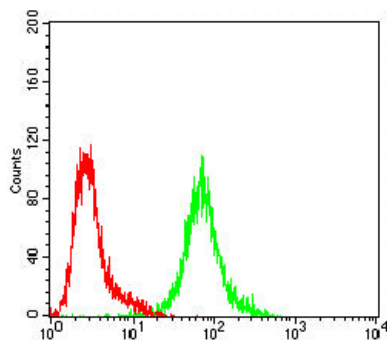
座に關与する可能性があり、これも腫瘍形成につながります。選択的スプライシング、ならびに AUG および非 AUG 翻訳開始コドンの選択的使用により、複数のアイソフォームが形成されます。AUG 開始コドンの1つはヒト集団において多型性を有しています。關連する偽遺伝子は、1 番染色体、3 番染色体、8 番染色体、10 番染色体、および 12 番染色体上に同定されています。

## 研究分野

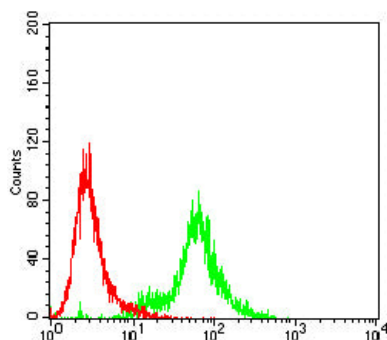
## 画像データ



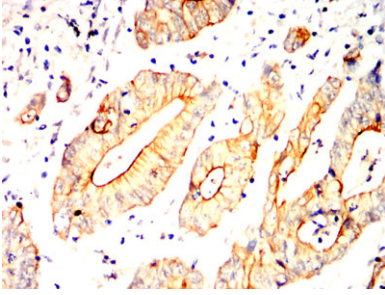
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



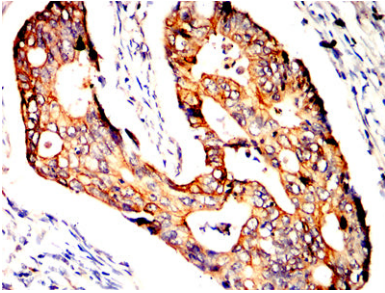
POU5F1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



POU5F1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



POU5F1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。



POU5F1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。